

卒業研究題目・概要届

(記入上の注意)

- ※ 本届の作成にあたっては、『卒業研究題目・概要届の手引き』を必ず参照すること。
- ※ 各項目の右の欄に、必要事項を記入すること。
- ※ 「卒業研究題目」欄には、サブタイトルは記入しないこと。
- ※ 「卒業研究の概要および研究計画」欄の字数は、300 字程度を目安とし、1 ページに収めること。
- ※ 「卒業研究の概要および研究計画」欄に、図表を掲載してはならない。
- ※ 表の罫線や余白の設定は変更しないこと。フォントサイズは大きくしないこと。
- ※ 表の枠内に収まるように記入すること。

学籍番号 (※CD を含めない)	1J17F048-9
氏名	熊沢 律紀
指導教員	菊池 英明
卒業研究題目	自然言語処理による RPA 開発と臨床評価
卒業研究の概要 および研究計画 (※改行なしで 8 行 以上記入すること)	近年、AI の爆発的な進化によって人が労働をする代わりに機械が労働をすることを可能とする技術が開発されている。その中に RPA(Robotics Process Automaition)が含まれる。RPA の技術内容に自然言語処理が用いられていることを知った。(劉 継 生) 自然言語処理が用いられる RPA の例としてコールセンター代行、自動翻訳、書類の自動生成、対話型 のチャットボット(テキストや音声を通じて会話を自動的に行うプログラム)による問い合わせ対応、自動 FAQ 生成、ロボットに よる接客、判例解析による法務支援などの目的と用途で利用されている。以上の例から自然言語処理により RPA へのアプローチをしていく。研究計画では、まず初めに RPA として議事録草案自動作成ツールを開発する。議事録草案自動作成ツールでは、コロナの影響下により対象をリモート会議にする。次に、開発したツールを実際の企業に導入し臨床実験を行う。臨床実験の結果から RPA の利点、欠点など多角的に評価する。